TAKUN FILMS, ANIMATION TOY BOX

古川タクのアニメおもちゃ箱

かわいくて、不思議で、面白いシンプル・アニメーション。
イラスト、絵本などでも知られる独特の震える線で描かれるキャラクターとユーモアあふれる世界。
絵が動き出す驚き、スクリーンに奥行きを感じさせるイリュージョン、フィルムに直接描いたり、
独創的なCGの使い方をしたり、つねに新しいチャレンジで海外でも話題を集める古川タクのアニメおもちゃ箱。
『東京物語』に想を得た、9年ぶりの待望の新作『TYO-STORY 上京物語』を含め大公開 !!

Image Forum

TAKUN FILMS, ANIMATION TOY BOX
古川タクのアニメおもちゃ箱

『ヘッド・スプーン』音楽：西岡たかし/1972年/5分
卵頭の男。スプーンで頭をたたかれるたびに、
サイケデリックな世界が広がる。
ニューヨーク近代美術館ベスト・オブ・ワールドアニメーションフィルムズ。

『美しい星 』音楽：村井邦彦/ 歌：森山京子/1974年/5分
歌にのって子供たちは惑星となって宇宙を浮遊し、地球を回る。
ユニセフの依頼で制作。

『驚き盤』音楽：東郷東海・林昌平/1975年/5分
19世紀の視覚的おもちゃ「驚き盤」をアニメで再現。
アヌシー国際アニメーション映画祭審査員特別賞受賞。

『コーヒー・ブレイク』音楽：山崎宏/1977年/3分
コーヒーを飲もうとした瞬間に大爆発、異次元の世界が広がる。
数百のアイテムが3Dで浮遊する圧倒的な光景。
第2回オタワ国際アニメーション映画祭入選。

『モーション・ルミネ』音楽：山崎宏/1978年/3分
映画発明の貢献者E・マイブリッジの連続写真にヒントを得、
光で描かれた人物が動き出す。

『コミックス』音楽：山崎宏/1979年/3分
線香花火になった不思議なキャラクターがパチパチとはじけ輝く。
流れ出す背景が浮かび上がる。

『スピード』音楽：山崎宏/1980年/5分
過去から未来へ、未来から過去へと恐ろしいスピードで変わる文明史。
芸術、食料、乗り物の三部構成。
81年毎日映画コンクール大藤信朗賞受賞。

『スリーピー』音楽：長谷川龍/1980年/6分
四六時中寝てばかりいるかわいい恐竜スリーピー。
後に絵本化もされた。

『マック・ザ・ムービー』音楽：山崎宏/1985年/3分
Macコンピュータの画面を直接撮影した画期的CGアニメ。
画面のゆがみ、揺れが効果的。

『カリグラフィティー』音楽：ピエール・バルー/1982年/5分
フィルムに直接、絵を描いたカリグラフ・アニメ。
独特な震えるプヨプヨ・タッチが楽しい。

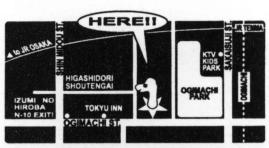
『ターザン』音楽：大島ミチル/1990年/6分
アフリカ旅行をシニカルにコミカルにスケッチ。
現代のターザンはサバンナで何を見たか？
90年国際アニメ・フェスティバル広島大会銀賞受賞。

『上京物語』音楽：本多俊之/1999年/13分
9年ぶりの待望の新作。
小津安二郎の『東京物語』をベースに、
瀬戸内海の島から上京してきた一組の老夫婦を
描くコミカルなロードムービー。
全てをデジタル・データで制作した意欲作。
師・久里洋二へのオマージュでもある。

上映時間全65分

古川タク●1941年、三重県に生まれる。久里洋二実験漫画工房をへて、66年に処女作アニメーション『ZURAW』を発表。
『牛頭』(69年、第7回アヌシー映画祭入賞)、『ヘッド・スプーン』、
『ニューヨーク・トリップ』(72年、ザグレブ国際アニメーション映画祭入選)、
『驚き盤』、『コーヒー・ブレイク』、『スピード』、『TarZAN』などのショート・アニメの傑作を次々に発表。
イラストレーターとしても、画集「ザ・タクンユーモア」(79年、第25回文芸春秋漫画賞受賞)ほか、
数々の絵本を出版、美術展への出品、個展なども数知れず。
NHKの「みんなのうた」のアニメ、JT、大塚製薬、ゼブラ、サッポロビール、NTTドコモ、味の素などのCMアニメ等でも活躍。
日本を代表するアニメーション作家、イラストレーター、絵本作家として国際的に活躍している。

2000年3月
レイトショー上映!!



ホワイティ梅田泉の広場M-10右上がる東へ5分
扇町ミュージアムスクエア
☎06・6361・0088 www.oms.gr.jp